

## 「姉川城跡」が国史跡に指定

昨年11月20日に文化審議会の答申を受けていた「姉川城跡」が、平成22年2月22日に国史跡として川端達夫文部科学大臣から指定を受けました。

これに伴い、市内では、特別史跡「吉野ヶ里遺跡」、名勝「九年庵」、史跡「帯隈山神籠石」、天然記念物「カササギ生息地」と合わせて国指定物件は、5件となりました。

## 指定を記念しシンポジウム

姉川城跡が国の史跡に指定されたのを記念したシンポジウムが3月6日千代田文化会館はんぎホールで開かれました。

シンポジウムでは、九州大学大



学院比較社会研究院の服部英雄副院長が「姉川城跡・史跡の国指定によせて」と題して基調講演、また、服部氏を含む4人の研究者によるパネルディスカッションが行われました。

パネルディスカッションでは、姉川城跡の今後の保存・整備と活用策について意見を交換。その中で、「来訪者が見て、当時の状況や生活が分かるような保存・整備を」との指摘がありました。

姉川城跡は、環濠を周囲に巡らせ、佐賀平野に残る低平地城跡の中でも最大級の規模を誇り、中世領主の居館の情景を具体的にとらえているとして、高い評価を受けています。

## 「下村湖人生家」「旧古賀銀行神埼支店」 「22世紀に残す佐賀県遺産」に認定

佐賀県美しい景観づくり審議会（伊佐淳会長）から答申を受け、2月16日、千代田町崎村にある「下村湖人生家」と神埼町三丁目にある「旧古賀銀行神埼支店」の2件が「22世紀に残す佐賀県遺産」に認定されました。

下村湖人生家は、「次郎物語」の作者である下村湖人が生まれた家です。蓮池藩の勘定方としていた祖父が、藩邸にあった「天賜園」内の建物を譲り受け現在の場所に移築したといわれ、その後、大正時代、昭和時代に増築され現在の形になっています。湖人の父の代に売却されましたが、昭和46年に下村湖人生家保存会が買い取り、記念館として一般に開放しています。

旧古賀銀行神埼支店は、大正3年に舟木右馬之助が設計し、竣工。建物は、洋風外観の総二階建ての木造モルタル作りで、内部は当初客溜りを中心としてその大半が吹き抜けに作られていました。昭和8年の金融恐慌で銀行が解散し、その後、福成産科医院、歯科医院として使用されていましたが、廃院後の平成21年に市が買収しました。平成13年には、国の登録文化財に指定されています。



▲下村湖人生家



▲旧古賀銀行神埼支店

現在、市内には、「ひのはしら一里塚」「仁比山神社の仁王門」の2件が佐賀県遺産に登録されており、今回の認定で4件となりました。

## 歴史文化遺産を活かした まちづくり基本計画を答申

2月25日、神崎市歴史文化遺産を活かしたまちづくり基本計画策定へ向け、同策定委員会（高島忠平委員長）から答申書が提出されました。



審議は、昨年5月から10回にわたって行われ、答申書には、まちづくりの基本理念を「水・人・歴史がおりなす神埼」とし、3つの基本方針が定められています。

市は、この基本計画に基づき歴史遺産をまちづくりの重要な資源とし、その価値を市民が再認識し、郷土に対する誇りと愛着を持つ人づくりと、歴史遺産と一体になった豊かな環境と景観を守り育てる歴史景観づくりを行います。また、人が行き交う活力ある神埼を市民とともに目指していきます。

## 市内農産物販売所の振興策について提言

2月23日、神埼市政推進委員会（江口勝利会長）から農産物販売所振興策についての提言書が出されました。



提言書は、市の要請を受け、市内農産物販売所の振興策について、市民視線、消費者視線で提案されています。

提言書作成にあたっては現地視察を行い、現場の担当者と意見を交換するなど、7回にわたる審議を重ねた上で、設置位置、商品の数および量、納品者の確保など課題を明らかにし、改善策をまとめられました。

また、「将来にわたつての政策提言」では、期間を設定した試行策として、最大の課題であり

る設置位置を改善できる幹線道路沿いに三店舗の出先店舗を設置。売上の促進をはじめ、納品者の育成、商品管理、品質管理などの課題についても、改善・克服できる「売れる店舗づくり」の推進を提言しています。

市としては、この提言を参考に、構想「長崎街道を活かした中心市街地（櫛田宮前町）活性化事業」と絡めながら、大きな柱の一つとして活用し、実施に向けた検討をしていきます。

◎問い合わせ先  
神埼市役所 市長公室  
☎ 3710102

## 「学びの里」事業を推進

市では、神埼・佐賀の歴史、風土、地域政策に触れ合う「学びの里」推進事業として、学生教育旅行を3月1日から2泊3日の日程で受け入れ、産業、観光見学や意見交換などを行いました。

神埼市を訪れたのは、関西学院大学の田中敦仁教授と学生10人。公共政策が専門の田中教授から市政への助言を受けるとともに、学生にとっては地方自治の現場を知り、提言する機会と

なりました。

一行は長崎街道・宿場、吉野ヶ里歴史公園、下村湖人生家などの歴史、観光施設や農産物直売所、企業などを見学。市議会の傍聴も行いました。

また、初日は市長を囲んでの「夜なべ談義」もあり、食生活改善推進協議会の会員が作られた郷土料理を味わいながら、地域の活性化などについて、活発に意見が交わされました。

「学びの里」事業は、内閣府の地方の元気再生事業に採択されており、今後も歴史文化遺産



を活かしたまちづくりの一環として推進していきます。

◎問い合わせ先

神埼市役所 市長公室  
☎ 3710102

## 男女共働共同参画へ基本計画を答申

3月15日、神埼市男女共同参画基本計画策定へ向け、同審議会（高柳陽子会長）から答申書が提出されました。



審議会の委員は、男性6人、女性9人で、審議は、平成20年5月から4回にわたつて行われました。答申は、男女が互いにその人権を尊重しながら責任も分かち合い、その個性と能力を十分に発揮できるような内容となつていきます。また、社会問題となつてきているDV（ドメスティック・バイオレンス）の被害者支援基本計画についても同時に策定することが最良となり、併せて答申されました。

答申を受け、市では、男女共働共同参画社会、人権の擁護と男女平等の実現に向け、取り組みを推進していきます。

## 有明佐賀空港の利用促進へマイエアポート宣言

神埼市は、有明佐賀空港の利用促進の支援をしていくため、有明佐賀空港マイエアポート宣言を行いました。



市職員による積極的な佐賀空港の利用とマイエアポートクラブへの入会を推進していきます。市民の皆さまも佐賀空港をご利用ください。

◎宣言内容

- ・本市職員は、原則有明佐賀空港を利用します。
- ・本市職員に対して、有明佐賀空港マイエアポートクラブへの入会を推奨します。

（市役所職員の退職）

江上 康行（2月28日付）  
古賀 賢次 貞島 正則  
牟田 茂敏 徳田 君江  
江頭 清登 園田 一実  
野田萬利子 宮崎はつよ  
江頭 愛子（3月31日付）  
市民の皆さま、在職中は大変お世話になりました。